

世界平和への祈り

～古代から現代そして未来へ～

鈴鹿芳康 × 今治のご縁の仲間たち

「合掌」に表現される「祈り」は世界平和であり、家族愛であり、人類愛であり、生かされていることへの感謝でもある。世界平和を祈る「心」に於いて人類は一つである。《祈りのカタチ》は世界平和への祈りであり万物への感謝のカタチでもある。

- 作家略歴
- | | | | |
|---------|---|---------|----------------------------|
| 一九六六―六八 | 多摩美術大学で学ぶ | 二〇〇四 | アルル国際写真祭デイスカバリ部門「グランプリ」 |
| 一九六八 | 日本版画協会展新人賞・一九六九年協会賞 | 二〇一三 | 京都府文化賞 功労賞 |
| 一九六九 | 第5回国際青年美術家展 日本文化フォーラム賞 | 二〇一八 | 京都美術文化賞 |
| 一九七五 | フルブライト奨学金を得てサンフランシスコアート・インスティテュートで写真を学ぶ | 二〇二〇―二二 | 個展【WIND MANDALA】今治市玉川近代美術館 |
| 一九七八 | 日本クラフトコンペ 京都デザイン協議会賞 | 二〇二二 | 個展【世界平和の祈り in 経堂】京都清水寺 |
| 二〇〇二 | 日本写真芸術学会 芸術賞 | | |



今治市朝倉ふるさと美術古墳館

〒799-1603 愛媛県今治市朝倉下甲898 TEL(0898)56-3754

2022 8.16 [火]
—10.23 [日]

9:00-17:00

主催 / 今治市教育委員会

世界平和への祈り

20世紀、科学と技術は急激な進歩をもたらしたが、その一方で欲望が異常に肥大し、貧富の格差が大きくなってしまった。今世紀に入ってから、現在進行中のロシアとウクライナの紛争など、国家・民族・宗教のはてしない対立は続いており、悲しむべき争いは終息の兆しがみえない。加えて、2年前からの新型コロナウイルスの世界規模での蔓延により、人類はかつて経験したことのない異常な事態に直面していると言えるだろう。

ネット社会の急激な進歩により情報が一瞬にして世界中に伝わる現代、こうした状況に対応するために、私たちは旧来のように大国に期待を寄せるのではなく、全世界が協力して世界平和を実現させる必要がある。

今回の作品には、四国・今治市の高速道路建設予定地でボーリング中に発掘された弥生時代・古墳時代の地層の土を使用している。『再生・共生・平和』は私の長年のテーマである。古代、この朝倉には人が住み他の生物が存在していた。その古代の土を使用することで、その土が『再生』され新しい土となって現代に生まれ変わり、更に未来に繋がっていくのだと思う。私たちはすべての生ある物と『共生』しながら生かされているのである。宇宙や自然への感謝、そして世界平和への願いをこの展覧会に込めた。

鈴鹿 芳康 (Yasu Suzuka)

鈴鹿芳康 × 今治のご縁の仲間たち展

第1展示室

では、平和への祈りをテーマとした作品を展示している。今回共同で展示を行う丹下聖子さんと渡邊篤子さんは、私が縁あって今治に移住してから知り合った作家の方々に、『祈り』をテーマとした作品を制作しているという共通点がある。

鴨部小学校の1～3年生および制作に協力してくれた愛媛県内外の私の知人たちやその子供たちには、土粘土を使った祈りのオブジェを作ってもらった。「大切にしているもの」「願いごと」「夢」などを、各人の思いや祈りを込めて、自由に形に作ってもらった作品群である。

また、鴨部小学校の4～6年生には、土の絵具を使った平和を願う絵を描いてもらった。1学年につき1枚の絵を描くにあたり、子供同士で話し合ったり協力したりして1枚の絵を完成させるという共同作業の難しさはあったと思うが、その分皆の思いがこもった力強い作品になっている。

子供たちが未来に夢を抱けている、このことこそがまさに平和を体現していると思う。大人から子供までいろいろな人のいろいろな平和を願うカタチを見て、平和とは何か、その平和を実現するにはどうすればいいのかについて考えるきっかけとなってほしいと思う。

第2展示室

では、再生をテーマとした陶芸と漆作品を展示している。私は移住後に今治の特性を生かした制作活動を模索していた。その中で、陶芸をされていた村上治先生や田中繁伯先生など様々な方のご縁が繋がって、地元を中心として、そこに在る資源に目を向けていこうというコンセプトのもと、今回の展覧会となった。これからも人と繋がり、地元の新たな資源素材と出会い、それらを結びつけて少しでも地域への刺激となれればと願っている。

また、今回ゲストアーティストとして、私の『再生』の理念に共感してくれた京都の漆作家・土井宏友氏に参加していただいた。土井氏には制作過程で欠けたり、割れたりしてしまった器を金継ぎ等で修復して新しい息吹きを与えていただいた。新田充泰さんとは約半年前に今治市で偶然に出会った。今回の展覧会でも、最初から最後まで積極的にサポートをしてくれる意欲的な頼もしい青年である。

最後に、私に陶芸という新しい表現への道を開いてくださった村上治先生は、今年米寿を迎えられた。今回の展覧会は私がここに至るまでの様々なご縁に感謝すると共に、村上治先生の米寿のお祝いを兼ねた仲間との作陶展でもある。

第1展示室《平和への祈り》

鈴鹿芳康(現代美術) / 丹下聖子(画家) / 渡邊篤子(インスタレーション作家) / 今治市立鴨部小学校 / その他に、愛媛県内外の知人たちやその子供たち

第2展示室《再生がテーマの陶芸と漆作品》

村上治 / 田中繁伯 / 新田充泰 / 鈴鹿芳康 / 土井宏友(漆作家・ゲストアーティスト)

関連イベント

講演会

「発掘調査された古墳や集落・今治の発掘調査について」

講師 / 松村 さを里 (愛媛県埋蔵文化財センター学芸員)

開催日 / 第1回 9月18日[日] 13:30～15:00

第2回 10月16日[日] 13:30～15:00

参加費 / 無料 定員 / 50名(申し込み先着順)

参加申込先 / 朝倉ふるさと美術古墳館まで

アーティストトークと煎茶の会

立礼の煎茶と展覧会にまつわる話をお楽しみいただけたいと思います。

開催日 / 8月27日[土]・9月4日[日]・9月24日[土]・10月22日[土]

時間 / ①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③15:30～17:00

※各回定員5名(定員になり次第受け付け終了)

参加申込先 / 090-1221-9594(要予約)

[席主: 鈴鹿芳康 / 新田充泰]

今治市朝倉ふるさと美術古墳館

〒799-1603 愛媛県今治市朝倉下甲898
TEL(0898)56-3754



観覧
無料

ご利用案内

■ 開館時間 / 午前9時～午後5時

■ 休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は原則翌日振替)、12月29日から翌年1月3日まで

アクセス

【交通機関ご利用の場合】

- ・JR今治駅、今治港から共に車で約20分
- ・せとうちバス(上朝倉行き、ダム行き、山越行き)
三軒屋バス停・下朝倉バス停から歩いて共に30分

【お車ご利用の場合】

- ・松山自動車道 東予・丹原インター降りて 約20分
- ・松山から、国道196号線(海岸沿い) 約1時間10分
- ・松山から、国道11号線(桜三里) 約1時間10分
- ・松山から、国道317号線(玉川経由) 約50分



朝倉ふるさと
美術古墳館
(緑のふるさと公園内)